

塩竈みなと祭がふるさとイベント大賞『内閣総理大臣賞』を受賞！

一般財団法人地域活性化センターが実施している「ふるさとイベント大賞」において、日本全国からの応募の中から「塩竈みなと祭」が今年新たに創設された『内閣総理大臣賞(大賞)』を受賞しました。

※「ふるさとイベント大賞」とは、全国各地で行われている地域の活力を生み出すイベントを表彰し、地域固有の風土・伝統・暮らしを守るとともに、故郷に対する愛着と誇りを育み地域の活性化を図ることを目的に平成8年より開催されています。

1. 塩竈みなと祭の概要

塩竈みなと祭は、志波彦神社・鹽竈神社の2基の御神輿を乗せた御座船「龍鳳丸」「鳳凰丸」が100隻もの供奉船を従えて、日本三景松島湾内を巡幸する海上渡御が勇壮な祭りで、日本三大船祭りの一つに数えられています。

戦後の昭和23年に産業振興と市民を勇気づけるために始まり、今年で67回目。

市内中心部で開催される陸上パレードでは、伝統民謡である「塩釜甚句」をモチーフにした「よしこの塩竈」の踊りコンテストが行われ、3,000人以上の方が参加しています。

また、前夜祭では花火大会や縁日広場が開催され、市民総参加の祭りに発展しています。

2. 塩竈みなと祭が評価された点

- ・例祭行事に合わせて行われていた神輿渡御が、豪華絢爛な海上渡御を行う祭りとして発展した。
- ・「塩釜甚句」がうたわれる中、重さ1トンの御神輿を担いで202段の急勾配の表坂を上る姿は、人々の五感に訴え、祭りの祝祭性を浮かび上がらせている。
- ・東日本大震災で中止の危機に迫られたが、継続して実施。被災地の復興の象徴となった。
- ・地域住民やボランティアの積極的な参加と協力体制の確立。
- ・運営は、地元青年4団体の地域の若い担い手を中心となり、共同で企画し実行。
- ・震災後支援をいただいている多くの自治体が祭りに参加するなど、様々な交流や連携が行われ、さらに将来の発展性が期待できる。

3. 表彰式について

日時：平成26年11月26日(水) 16:50~17:10

場所：内閣総理大臣官邸

内容：安倍総理代理の菅官房長官より表彰され、また、よしこの塩竈の踊りを披露。

※大賞のみの表彰で、大賞を除く各賞の授与式は平成27年3月4日に東京都内において開催予定。

《表彰式の様子》

